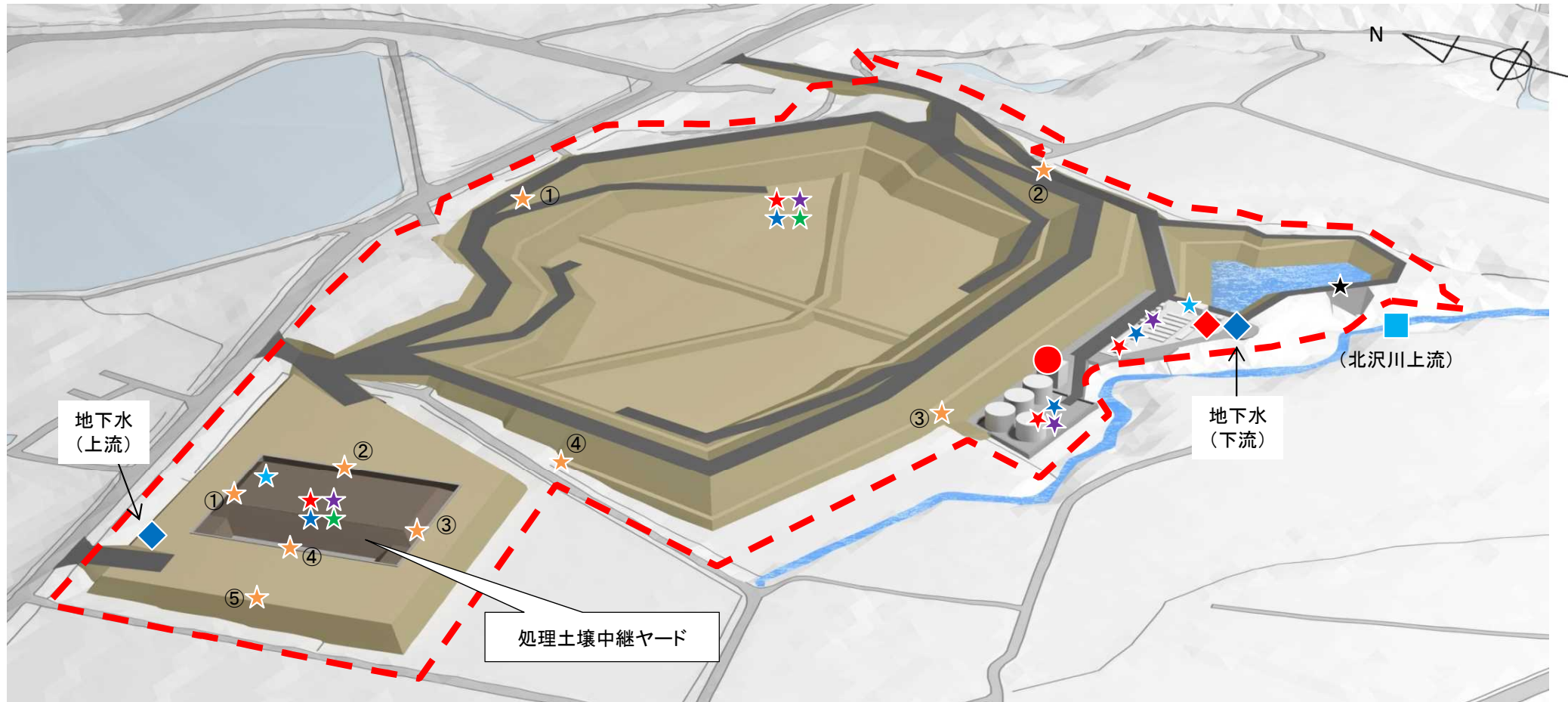


土壤貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量 | ■ : 放流先河川の放射能濃度 | ★ : 粉じん濃度 |
| ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁) |
| ★ : 表面汚染密度(設備) | ★ : 表面汚染密度(重機) | --- : 敷地境界線 |

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2019/3/6 (稼働後)		85	9.2
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2019/3/6 (稼働後)		82	6.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2019/3/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/3/6	7.4	8.4	11	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2019/3/1 ~2019/3/30	92	0.2	4.7	ND	2737

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/3/6	11

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2019/3/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア	0.5
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.3
処理土壌中継ヤード	0.3

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.37
浸出水調整設備	0.39
浸出水処理設備	0.15
処理土壌中継ヤード	0.38

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/3/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
貯蔵エリア	設備	ベルコン出口	ND
		重機	タイヤショベル①
	重機	ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND
		バックホウ④	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2019/2/6	(稼働後)	55	7.0
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2019/2/6	(稼働後)	67	6.2

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/2/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/2/6		6.7	1.5	8.9	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2019/2/1 ~2019/2/19	6	0.2	0.2	ND	172

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/2/6		8

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/2/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2019/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア		ND
浸出水調整設備		ND
浸出水処理設備		ND
処理土壌中継ヤード		-

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.29
浸出水調整設備	0.39
浸出水処理設備	0.17
処理土壌中継ヤード	0.38

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
貯蔵エリア	設備	ベルコン出口	ND
		重機	タイヤショベル①
	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
バックホウ③	ND		
バックホウ④	ND		

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2019/1/9 (稼働後)		36	11
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2019/1/9 (稼働後)		59	6.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2019/1/25 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/1/9		7.1	1.8	9.8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/1/29 ~2019/1/31	6	0.2	2.6	ND	159

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/1/8		4

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2019/1/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/1/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.3
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/8 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア	0.35
浸出水調整設備	0.37
浸出水処理設備	0.14

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度 $\times 2 \times 10^{-3}$ + セシウム137の濃度 $\div 3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/1/28 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2018/12/6 (稼働後)		97	10
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2018/12/6 (稼働後)		49	6.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/12/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2018/12/6		8.1	2.1	8.2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/12/7 ~2018/12/26	11	2.8	4.9	ND	329

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/12/5		2

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/12/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/12/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.2
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
	貯蔵エリア
浸出水調整設備	0.41
浸出水処理設備	0.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
	貯蔵エリア
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点	2018/12/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)		
	貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2018/11/21 (稼働後)		150	9.9
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2018/11/21 (稼働後)		37	6.3

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/11/22 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2018/11/21		7.9	0.7	7.6

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/11/2 ~2018/11/26	27	0.0	3.2	ND	732

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/11/20		1

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/11/20 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/11/21 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.1
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/6 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア	0.40
浸出水調整設備	0.43
浸出水処理設備	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/11/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11	(稼働前)	240	8.1
	2018/10/5	(稼働後)	210	8.8
下流	2018/7/11	(稼働前)	32	9.5
	2018/10/5	(稼働後)	26	7.8

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2018/10/24	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/10/5		7.1	1	6.3	<5

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/10/1 ~2018/10/31	50	0.0	4.1	ND	1612

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/10/4		4

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2018/10/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/10/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.6
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.44
浸出水調整設備	0.37
浸出水処理設備	0.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/10/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2018/9/12 (稼働後)		210	8.8
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2018/9/12 (稼働後)		33	7.1

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/9/26 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/9/12		6.3	4.3	9.3	<5

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/9/1 ~2018/9/30	85	0.1	12.3	ND	2646

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/9/11		12

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/9/11 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/9/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	0.2
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/17 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア	0.43
浸出水調整設備	0.40
浸出水処理設備	0.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/17 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/9/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2018/8/28 (稼働後)		200	9.5
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2018/8/28 (稼働後)		27	7.6

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/8/23 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/8/28		6.4	0.9	4.7

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/8/8 ~2018/8/31	106	0.1	11.4	ND	3368

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/8/28		10

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/8/28 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/8/28 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	0.1
浸出水処理設備	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/20 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア	0.52
浸出水調整設備	0.47
浸出水処理設備	0.14

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/20 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/8/21 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/11 (稼働前)		240	8.1
	2018/7/24 (稼働後)		220	9.0
下流	2018/7/11 (稼働前)		32	9.5
	2018/7/24 (稼働後)		33	9.3

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND
2018/7/21 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2018/7/24 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/7/24 (稼働後)	
	粉じん濃度 (mg/m ³)	
貯蔵エリア	0.2	
浸出水調整設備	0.1	
浸出水処理設備	ND	

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/26 (稼働後)	
	空間線量率 (μSv/h)	
貯蔵エリア	0.32	
浸出水調整設備	0.41	
浸出水処理設備	0.15	

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/26 (稼働後)	
	放射能濃度 (Bq/cm ³)	
貯蔵エリア	ND	
浸出水調整設備	ND	
浸出水処理設備	ND	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/7/25 (稼働後)		
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²